



MAEDAKOSEN

[PRODUCT INFORMATION]

ENVIRONMENTAL
MATERIALS

ジオフリース® 防草シート

ジオテキスタイル

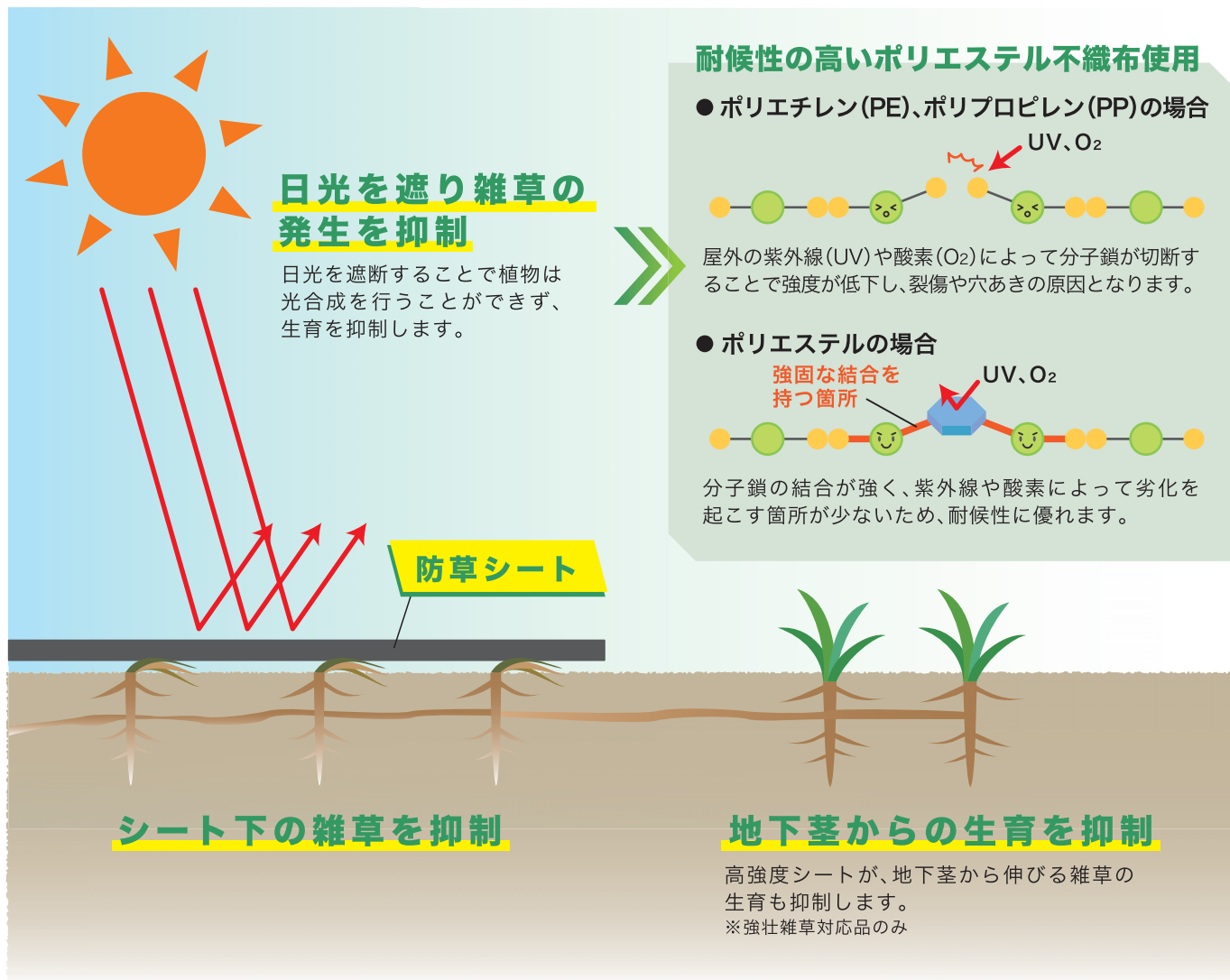
Materials for Greening and Anti-weed

緑化・防草用資材

前田工織

ジオフリース® 防草シート

雑草の発芽・生育を防ぐ不織布製のシート



日光を遮り雑草の発生を抑制
日光を遮断することで植物は光合成を行うことができず、生育を抑制します。

防草シート

耐候性の高いポリエステル不織布使用

- ポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)の場合
屋外の紫外線(UV)や酸素(O₂)によって分子鎖が切断することで強度が低下し、裂傷や穴あきの原因となります。
- ポリエステルの場合
強固な結合を持つ箇所
分子鎖の結合が強く、紫外線や酸素によって劣化を起こす箇所が少ないため、耐候性に優れます。

シート下の雑草を抑制

地下茎からの生育を抑制
高強度シートが、地下茎から伸びる雑草の生育も抑制します。
※強壮雑草対応品のみ

ジオフリース防草シートを使うと…

1

除草作業の省力化

施工後は草刈りの必要がなく、メンテナンスも最小限で済みます。

2

長期的な除草コストの低減

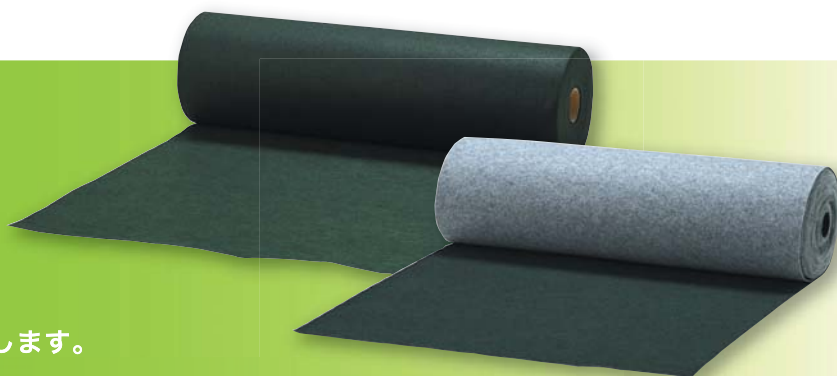
耐久性・耐候性に優れており、管理コストを抑えることができます。

3

低環境負荷

農薬を使用しないため、環境に対しての悪影響がありません。

ジオフリース防草シートは、緻密な繊維構造と高い遮光効果によって雑草の発芽と生育を抑制します。



PRODUCT LINEUP

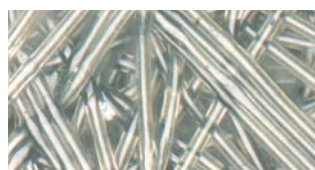
シリーズ	BSK シリーズ				BSN シリーズ			
品 番	BSK-100EX	BSK-150M	BSK-200M	BSK-250M	BSN-200M	BSN-060M	BSN-360M	BSN-850ME
幅 [m]	1 または 2							
長 さ [m]	50					25 または 50	10 または 25	20
素 材	ポリエステル							ポリエステル・ ポリオレフィン
質 量 [g/m ²]	100	150	200	250	200	600	360	850
厚 さ [mm]	0.35	0.4	0.5	0.6	1.0	4.0	2.0	2.0
引 張 強 度 [N/5cm] (た て × よ こ)	320×220	400×350	430×380	480×500	130×300	600×900	400×250	630×850
遮 光 率 [%]	95	99						100
参考耐用年数 [年] ^{※2}	1～3 年	3～5 年	5～7 年	7～10 年	3～5 年	7～12 年	10～15 年	20 年
特長・用途	砂利下等	曝露 強壮雑草対応 ^{※1}			曝露 植栽用		曝露 強壮雑草対応 ^{※1}	
対応規格	—	SMR-A/B ^{※3}	SMR-A/B ^{※3}	SMR-A/B ^{※3}	—	SMR-E/F ^{※3}	—	—
備 考	※1. 強壮雑草：チガヤ、ススキ、スギナ、クズ、ヨシ等 ※2. 耐用年数は参考値。現場の条件により誤差が生じる。砂利下で使用する場合は半永久。 ※3. 造園施設標準図集(NEXCO)対応規格							

BSKシリーズ

作業性に優れた単層構造の軽量防草シート



- 軽量(1ロール10kg程度)であるため、施工性が良好です。
- 繊維密度のムラが少なく、強度の高いспанボンド不織布を使用しています。(150M、200M、250Mは強壮雑草対応)
- 難燃性があり、たばこのポイ捨てでシートが燃え広がることはありません。



シート表面拡大写真(×1000倍)
緻密な構造で雑草をブロック

BSNシリーズ

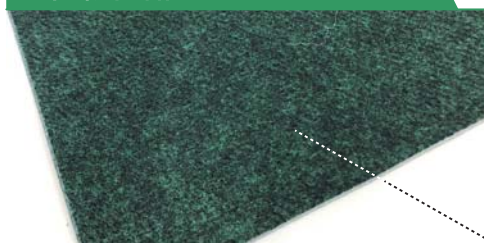
耐久性に優れた厚手の防草シート



- 柔軟性の高いニードルパンチ不織布を使用しており、地面と密着しやすい防草シートです。
- 200M、060Mは透水性が高く、植栽用途に使用できます。
- 360Mはспанボンドとニードルパンチ不織布の2層構造であり、強壮雑草の抑制効果に優れています。
- 難燃性があり、たばこのポイ捨てでシートが燃え広がることはありません。

高機能品 BSN-850ME

完全遮光・完全遮水による最高の防草性能



- 中間の樹脂層が太陽光・水分を100%遮断し、強壮雑草による突き抜けも防ぎます。また、3層構造により、高い耐候性を示します。(耐用年数20年)
- 難燃性があり、たばこのポイ捨てでシートが燃え広がることはありません。

砂利下



- 推奨製品
BSK-100EX
- 耐用年数※
砂利下：10年
(曝露：1～3年)
- 難燃性あり

防草シートを敷くことで、砂利の隙間から雑草が生えるのを防ぎ、また、砂利自体が土に埋没することを防ぎます。
適度な強度と、透水性が求められます。

植栽用



- 推奨製品
BSN-200M、060M
- 耐用年数※
BSN-200M：3～5年
BSN-060M：7～12年
- 難燃性あり

植栽用の防草シートは、雑草の生育を防ぐとともに、希望の植物を植えることが可能です。
植えた植物の生長に必要な水を確保するため、十分な透水性が求められます。

強壮雑草対応



高強度かつ緻密な構造により、高い貫通力を持つ強壮雑草がシートを突き抜けることを防ぎます。
複数層の場合、より長期的な使用が可能です。

単層構造品



- 推奨製品
BSK-150M、200M、250M
- 耐用年数※
BSK-150M：3～5年
BSK-200M：5～7年
BSK-250M：7～10年
- 難燃性あり

2層構造品



- 推奨製品
BSN-360M
- 耐用年数※
10～15年
- 難燃性あり

3層構造品



- 推奨製品
BSN-850ME
- 耐用年数※
20年
- 難燃性あり

※耐用年数は参考値

施工手順

※詳細は施工手順書を参考にしてください。

準備工（除草・清掃）

- ①草刈りを行い、表面に出ている葉や茎を綺麗に刈り込んでください。
- ②構造物の表面が綺麗になるように、泥や埃を除去し、接着面をワイヤーブラシで十分に清掃してください。
シート重ね部は10cm程度確保してください。



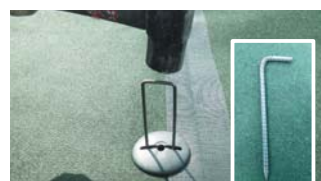
防草シートの展開と打設

- ①必要長さにハサミ、カッター等でカットしてください。
- ②フェンス支柱や構造物がある場合は、ハサミで切込みを入れて敷設してください。



防草シートの固定

- ①刷毛、ローラー、ヘラを使用して接着剤を塗り、端部を固定してください。
- ②コ型止めピンとワッシャーを使用し、防草シートを固定してください。地盤が硬く、コ型止めピンが入らない場合はL型固定ピンを使用してください。



完了

植栽手順

①植栽位置決め



植栽する箇所を決めます。

植栽位置にマジックやチョーク等で、T字もしくは十字の目印を付けてください。

②防草シートの切込み



防草シートに切込みを入れます。

①で付けた印に沿ってカッター等で切込みを入れてください。

※切込みが大きすぎると、雑草が出てきやすくなるので植栽する苗に合わせて出来るだけ小さめにしてください。

③植え穴掘り



苗を入れる穴を掘ります。

スコップ等でポット苗が入る大きさの穴を掘り、培養土や化成肥料を入れてください。苗の株元が少し埋まる程度が深さの目安です。

④苗の植え付け



苗を植え穴に挿入します。

植え穴に苗を入れ、隙間の無いように土を埋め戻し、しっかり押さえてください。手で根をもみぐすと根が広がりやすくなります。

※植栽後、天気の状態を見て適宜水やりをしてください。

熱融着手順（BSN-850ME 施工時に必要となる工程です）

①防草シート重ね部の処理



手動熱風融着機にてシート同士を融着させ、上からしっかりと押さえつけて接着させてください。

温度・風量は現場状況により調節してください。

（使用機器欄に推奨機器記載）

②支柱周りの処理



シートを支柱周りの形状にカットし、重ね部に合わせて熱融着してください。

支柱周りは、隙間を与えないように処理を行ってください。

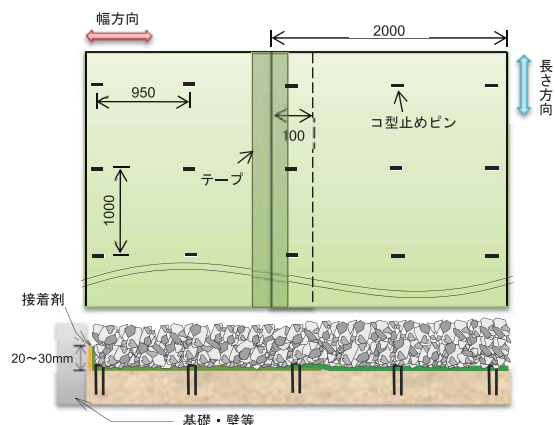
③打ち直しや傷部分の修正・補修



固定ピンの打ち直し等でシートに穴や傷がついた場合は、余ったシートを融着してください。

標準配置例

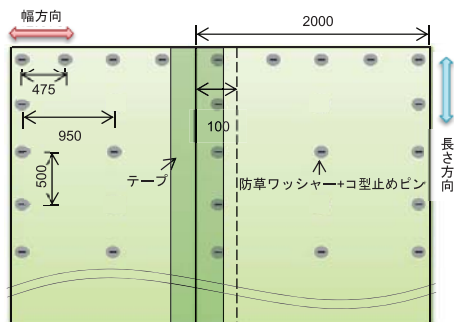
BSK、BSNシリーズ施工時、敷設状況によって下図を参考にピンの配置を行ってください



砂利下の標準配置

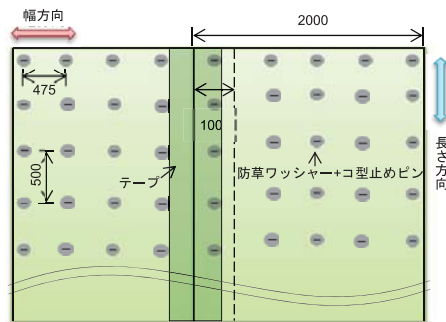
- 幅方向1m程度、長さ方向1m間隔で「コ型止めピン」にて固定します。
- 硬い地盤の場合は「L型固定ピン」を使用します。
※シート重ね部は100mm程度ラップし、テープを貼り付けます。
- 構造物等の境目は20~30mm程度上げ、接着剤を用いるとより防草効果が高まります。
- 5~6号砕石を厚さ50mm以上で均一に敷き、シートが完全に隠れるようにします。

平面の標準配置



- シート外周を0.5m程度、中央部を幅方向1m程度、長さ方向0.5m間隔で「防草ワッシャー」、「コ型止めピン」にて固定します。
- 硬い地盤の場合は「L型固定ピン」を使用します。
※シート重ね部は100mm程度ラップし、テープを貼り付けます。

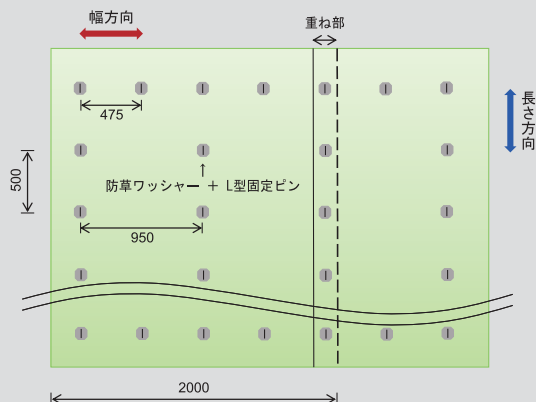
法面の標準配置



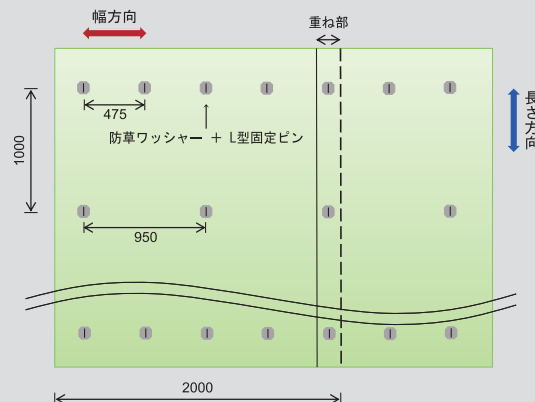
- 幅方向0.5m程度、長さ方向0.5m間隔で「防草ワッシャー」、「コ型止めピン」にて固定します。
- 硬い地盤の場合は「L型固定ピン」を使用します。
※シート重ね部は100mm程度ラップし、テープを貼り付けます。

BSN-850ME BSN-850MEを施工する場合、法面の状態に合わせて、下図を参考にピンの配置を行ってください

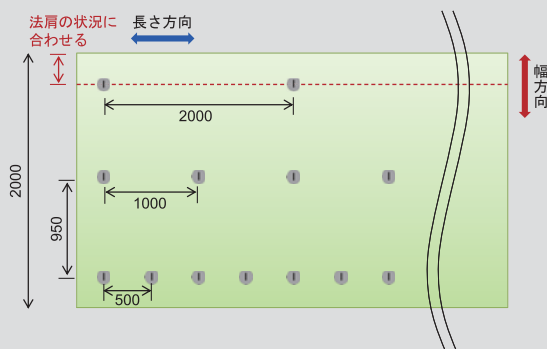
標準配置（平面）



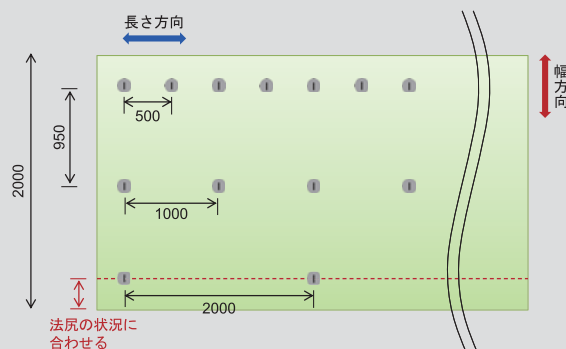
標準配置（法面）



標準配置（法肩に構造物あり）



標準配置（法尻に構造物あり）



防草保護ネット

風による防草シートのめくれを防止する樹脂製の保護ネット



品 番
SPW-20S
規 格
195mm×30m



- 防草シート端部をしっかりと固定し、めくれの要因である風の進入を抑制します。
- 表面の凹凸により雨水の流水速度を抑え、境界面の土壌侵食を抑制します。
- 合成樹脂製であるため、錆が発生しません。また、耐候性に優れており、効果が長期間持続します。

副資材

コ型止めピン	L型固定ピン	防草ワッシャー (グリーン/ブラック)	アスファルト固定セット (グリーン/ダークグリーン)	接着剤	固定用テープ・マルチ用テープ	アンチウィードテープ スクエア
品 番	品 番	品 番	品 番	品 番	品 番	品 番
SPW-P-200	SG-D10*200	SG-7203WDF SG-7202WDF -BLACK	SG-ASLOCK-SET SG-ASLOCK-SET-DG	①SG-BOND-DB-300C ②SG-M-35RF-C-3	固定用テープ(黒/緑) ①SPW-BT-BK ②SPW-BT-GR	SPW-AWT-SQ
規 格	規 格	規 格	規 格	規 格	マルチ用テープ ③SPW-MT-G	規 格
Φ4mm×W40mm ×L200mm 50本/袋	D10×L200mm 100本/箱	Φ80mm×T12mm 50枚/袋	釘#9×L50mm 100set/袋	①300mlカートリッジ (約300g) ②3kg缶	規 格	100mm×20m(色:緑) 10cm間隔スリット入り (200枚/巻)
用 途	用 途	用 途	用 途	用 途	①100mm×20m(色:黒) (質量100g/ml以下で使用)	用 途
シートの固定	シートの固定	シートの固定	路肩部のシートの 固定	シートラップ部の接着 構造物へのシート接着	②100mm×20m(色:緑) (質量150g/ml以上、250g/ml以下で使用)	ピンの抑え箇所の 雑草抑制補修等
					③100mm×50m(色:緑) (質量360g/ml以上で使用)	
					用 途	
					シートラップ部の固定 構造物へのシートの固定	

熱融着機 (BSN-850MEの熱融着時に使用します)

(例)



HEATING GUN
(HAKKO製)



トリアックST
(ライスター製)

推奨規格

消費電力: 100W～
最高温度: 400℃以上を推奨

注意事項 ※必ずお読みください

- 本製品は遮光性を利用して雑草の繁茂を抑えるシートです。本来の目的以外には使用しないでください。
- 施工手順書に従って施工してください。
- シート自体に直接雑草を枯らす効果はありません。
- シート敷設前の処理段階で雑草の株や根等が残っている場合には、雑草がシートを突き抜けて生える可能性があります。施工前に十分な除草処理を行い、刈り取った株や根等を除去した上で施工を行ってください。
- シート上に土砂が堆積した場合、飛来した種子が発芽、生育する可能性があります。
- シートが損傷し穴が開くと、そこから光が入り雑草が生える場合があります。シートに外力を加えないようご注意ください。
- 車が通行する場所や歩行部ではシートが損傷する可能性があります。ご使用はお控えください。
- 効果やシートの耐用年数は使用状況や場所によって異なります。
- 使用しないときは屋内に保管するか、屋外で保管する場合にはシート等で養生の上保管してください。

免責事項 ※必ずお読みください

- 台風、地震など天災地変による不可抗力に起因する損害、鳥獣等による損害、その他不可抗力等弊社の責めに帰さないと考えられる損害、現行の技術範囲では想定できない事象などでの損害
- 敷設面下地の突起・凹凸・法面崩壊・地盤沈下等による損害、覆土作業における重機・機材などによる損害、火・熱等による損害、有機溶剤・油・化学薬品の投棄・流入による損害、使用者・管理者の使用上の過失もしくは故意による損害

前田工織株式会社

東京本社／〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1
東京営業部 芝パークビルA館12F
TEL.03-6402-3944 FAX.03-6402-3945
福井本社／〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3
福井営業部 TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236
札幌支店／TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365
仙台支店／TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671
名古屋支店／TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021
大阪支店／TEL.06-4256-1136 FAX.06-4256-1166
広島支店／TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565
四国支店／TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511
福岡支店／TEL.092-282-1033 FAX.092-282-1035
盛岡営業所／TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078
新潟営業所／TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806
金沢営業所／TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078
岡山事務所／TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357
鹿児島事務所／TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256
<https://www.maedakosen.jp/>

沖縄コーセン株式会社

本社／〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-10-16 沖縄バスビル2F
TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418